



雅楽鑑賞会

大阪歴史博物館での演奏会は、昨年の公演で六回を数え、六年かけて雅楽唐楽六調子(老越調・平調・双調・黄鐘調・盤渉調・太食調)を全て網羅し、一区切りを付けました。今年度からの公演は、管絃・歌謡・舞楽の中から減多に演奏される曲の違いや特色、一曲取り上げ、使用する楽器のみならず時代背景やけ加え、より深く雅楽に親しんでもらおう、という趣向です。管絃は双調「入破」を取り上げます。この曲は雅楽曲の中でわずかに二曲しかない「早六拍子(はやのむひょうし)」の曲です。歌謡は催馬楽「安名尊(あなとら)」。主君を称えるおめでたい曲です。そして舞楽は「打球楽(たぎゅうらく)」。平安時代のスポーツである「打球(たぎゅう)」は、現在のポロに似たスポーツでした。あたかも球を今にも打ちそうな、そんな舞振りがあります。どうか暖かくしてお越し下さいませ。

《第一部》
管絃

双調調子

入破

催馬楽
安名尊

《第二部》
舞楽

打球楽

2016年2月27日(土) 13時から14時30分(開場12時30分)

◆演奏/博雅会(代表 岩佐堅志)

◆場所/大阪歴史博物館 4階講堂

〒540-0008 大阪府中央区大手前4-1-32 雅楽係 TEL.06-6946-5728

◆募集方法/往復はがきによる事前申し込み はがき1枚につき1名 1月31日消印有効

応募者多数の場合は抽選 <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

募集人員
250名

参加費
無料※
※但し資料代(300円)



博雅会 プロフィール

雅楽の自由な演奏活動を目的に、平成11年4月に発足した雅楽演奏ユニット。構成する人間は北海道から九州までの全国各地に在住する次世代の雅楽を担う若者たちで構成される。雅楽といえば洗練された大人しいものをイメージしがちですが、若さにあふれた元気の良い演奏が我々博雅会の持ち味と言えます。

平成12年8月には新潟・富山・石川三県にまたがり「北陸公演」を举行、8都市11公演・延べ2000人の観客を動員し大成功を収め、その模様はテレビ・新聞などにも大きく取り上げられました(以降北海道・中四国・九州で雅楽演奏ツアーを開催)。また演奏のみならず、雅楽講師を全国に派遣するなど後進の育成にも力を注いでいます。博雅会の特徴である、メンバーが全国各地に点在するという性格を生かし全国各地で演奏活動を実施し、また多くの雅楽演奏団体とも技術指導提携・人材交流などを積極的に行なっています。大阪歴史博物館での公演は、昨年度に引き続き3度目となります。

なお、「博雅」とは、「広く物事をよく知る」という意味であり、また平安中期における雅楽の大スターで映画『陰陽師』でも御馴染み、源博雅(みなもとのひろまさ)からもじりました。

ホームページアドレス <http://hkgk.wtk.jp/hakuga.html> E-mail: sokoh@ruby.ocn.ne.jp